

学年	高校3年	教科	公民	科目	政治・経済演習	単位数	6
教科書名	詳述政治・経済（実教出版）			副教材名	2025 ズームアップ政治・経済資料 政治・経済用語集 20日完成 スピードマスター政治・経済問題集		
コース・クラス	進学コース 選抜クラス 文系						

## I. 目標

1. 共通テスト8割をめざし、基礎的な実力を定着させる。
2. 民主主義の本質を理解し、広い視野から政治・経済・国際関係について客観的に理解する力を身につける。
3. 政治・経済・国際関係などに関する諸課題について主体的に考察し、解決策を探究する。
4. 公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

## II. 授業のねらい

1. 日本が直面している国際問題を扱い、自分たちの身近な問題として捉え、日本の立場、解決策を考える。
2. 様々な出来事に歴史的・政治的背景があることを理解し、物事を多面的に捉える力を身につける。
3. 進路目標に即した問題演習を行い、共通テスト・難関私大（MARCH レベル）に対応できる学力を育む。

## III. 授業の進め方

1. 入試問題演習を行う（共通テスト・私大）。
2. 解答解説を行い、複数の単元に拡張させる。
3. 時事問題を扱い（ミニ論述）、知識を言語化するトレーニングを行う。
4. DVD や図表を効果的に活用し、視覚から理解を深める。主権者教育はAL方式で行い、より実効性のあるものとする。

## IV. 学習上の留意点

1. 現代社会における事象への関心・意欲を高めるような内容を授業に盛り込む。
2. 用語の暗記のみではなく、様々な事象と関連付けて覚える。
3. 単なる知識の習得に留まらず、説明できるレベルにまで到達する。

## V. 定期試験

- 1 学期 中間試験：政治（国内）
  - 1 学期 期末試験：政治・経済（国内）
  - 2 学期 期末試験：経済（国内）、政治・経済（国際）
- ※各定期試験には、上記内容以外にも政治経済各単元の入試問題が含まれます。

## VI. 評価の方法

1. 各学期の定期試験
2. 小テスト
3. 課題提出

Ⅶ. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	政治経済全単元演習問題にチャレンジ (基礎学レベル・共通テストレベル・日東駒専・GMARCH レベルまで) 1 日本国憲法と統治機構 ・国会、内閣、裁判所の関係 ・違憲審査制、議院内閣制 <時事接続>	・中間試験  ・小テスト  ・期末試験	・各テーマの入試問題を解き、複数単元に渡って重要事項を理解する。  ・1では、内閣支持率、違憲判決、緊急事態条項などの時事問題にも触れ、説明できるレベルにまで到達する。
	5	2 選挙制度と政党政治 ・小選挙区比例代表並立制、ねじれ国会 ・政党助成金 <時事接続>		・2では、投票率の問題、若年層の政治参加などの時事問題にも触れ、説明できるレベルにまで到達する。
	6	3 地方自治と分権 ・国と地方の役割 <時事接続>		・3では、地方創生、地方財政などの時事問題にも触れ、説明できるレベルにまで到達する。
	7	4 市場メカニズムと価格 ・価格弾力性 ・市場の失敗 <時事接続>		・4では、物価上昇、補助金政策などの時事問題にも触れ、説明できるレベルにまで到達する。
	9	基礎学過去問にチャレンジ 政治経済全単元演習問題にチャレンジ (基礎学レベル・共通テストレベル・日東駒専・GMARCH レベルまで) 5 金融政策と中央銀行 ・インフレ、デフレ ・政策金利 <時事接続>		・基礎学本番を想定した問題への対応、テクニックなどを再確認する。問題を解きながら、倫理分野の復習も行う。  ・5では、円安、金融緩和と利上げ、国際収支などの時事問題にも触れ、説明できるレベルにまで到達する。  ・6では、増減税、少子高齢化などの時事問題にも触れ、説明できるレベルにまで到達する。  ・7では、為替介入、関税などの時事問題にも触れ、説明できるレベルにまで到達する。  ・8では、紛争問題、領土問題などの時事問題にも触れ、説明できるレベルにまで到達する。  ・9では、制度改革、子育て支援、高齢化問題などの時事問題にも触れ、説明できるレベルにまで到達する。  ・10では、財政政策、企業の社会的責任(CSR)などの時事問題にも触れ、説明できるレベルにまで到達する。
10	6 財政政策と国債 ・財政赤字、社会保障費 <時事接続>	・6では、増減税、少子高齢化などの時事問題にも触れ、説明できるレベルにまで到達する。		
11	7 国際経済 ・為替、貿易 ・WTO <時事接続>	・7では、為替介入、関税などの時事問題にも触れ、説明できるレベルにまで到達する。		
12	8 国際政治と安全保障 ・国連の仕組み ・安全保障理事会、集団安全保障 <時事接続>	・8では、紛争問題、領土問題などの時事問題にも触れ、説明できるレベルにまで到達する。		
9	9 社会保障制度 ・年金 ・保険と公的扶助 <時事接続>	・9では、制度改革、子育て支援、高齢化問題などの時事問題にも触れ、説明できるレベルにまで到達する。		
二学期	10	10 環境問題と持続可能な社会 ・条約 ・SDGs <時事接続>	・10では、財政政策、企業の社会的責任(CSR)などの時事問題にも触れ、説明できるレベルにまで到達する。	

※ シラバスの内容については、進捗状況、理解度、その他の都合により変更する場合がある。